

平成30年度 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会

議事録

[第 1 回 委員会]

1. 日時 平成30年12月21日(金) 15時30分～17時15分
2. 場所 鉄道・運輸機構 九州新幹線建設局長崎鉄道建設所 会議室
3. 出席者 委員：家田委員長、岩倉委員、楓委員、西岡委員
4. 議事

(1) 委員長の選出について

■家田委員が選出された。

(2) 平成30年度独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業評価監視委員会

運営要領(案)について

■事務局案は了承された。

(3) 整備新幹線事業の再評価対象事業に関する事業評価報告書(案)について

■九州新幹線(武雄温泉・長崎間)及び北陸新幹線(金沢・敦賀間)事業に関する事業費増加の状況について鉄道・運輸機構より説明。

■委員からの主な意見

審議の結果、以下の意見が出された。

① 事業費増加の状況について

・事業費の増加については、原因が外的要因によるものや現地状況などによるものであり、やむを得ないことと認められる。

② 本事業における効果・影響について

・九州新幹線(武雄温泉・長崎間)は武雄温泉や嬉野温泉など、観光面で一体的にアピールできれば、より効果が見込まれると考えられる。

③ 景観への配慮について

・西九州ルートには例えば棚田や石垣のように特徴のある景色があり、そのような周辺の景観に馴染むような配慮があればより良いという感想を持った。今後の線区においてより一層の工夫を期待したい。

④ その他

・九州新幹線(西九州ルート)及び北陸新幹線は、整備計画区間全体(福岡市・長崎市間および東京都・大阪市間)が整備されることで事業として本来の投資効果を発揮するものである。そのためにも、今後、未着工区間について検討を進めることが望ましい。

5. その他

■上記意見を踏まえた資料の修正を行い、3月8日に第2回委員会を開催し、修正内容を審議することとなった。